

# 日本海海戦 120 周年記念式典

## 日本海海戦 120 周年－伝統を継承し未来へ

2025年5月27日、日本海海戦120周年記念式典を記念艦三笠で開催しました。明治38年5月27日、28日の海戦で日本の連合艦隊が大勝し、日本の近代化の礎となりました。この歴史を称えるため、三笠は満艦飾に飾られ、荘厳な雰囲気の中、記念式典を挙行了しました。



式典では、戦没者への黙禱が捧げられた後、三笠保存会の大宮会長の式辞に続き、上地横須賀市長、真殿横須賀地方総監、上地横須賀市長、真殿横須賀地方総監、ライフステック米海軍第7潜水艦群司令官から祝辞をいただきました。多くのご来賓、三笠保存会会員の皆様方にご参集いただき、日本海海戦における戦艦三笠の活躍と歴史上の意義をあらためて心に刻みました。

引き続き上甲板では海上自衛隊横須賀音楽隊による艦上演奏会が行われ、アンコール曲の軍艦マーチまで、観覧者の心をわしづかみにしてしまう素晴らしい演奏が行われました。



その後、後甲板にて祝宴が催され、約200名の参加者が集い、歴史的節目を祝いながら歓談いただきました。

また、茶道裏千家淡交会横須賀支部のご協力により、Z旗を模したお菓子とともに呈茶も催され、ゆったりとした時間をお楽しみいただきました。

この式典は、過去の勝利を称えるだけでなく、次世代に歴史を継承する場となりました。

